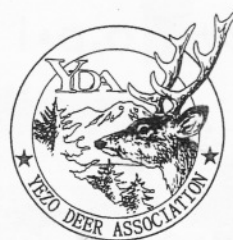


2000年12月20日発行

YEZO DEER ASSOCIATION
(社)エゾシカ協会



News Letter No.6

事務局: 〒061-0212 北海道石狩郡当別町金沢 166-8 電話: 01332-5-5533 FAX: 01332-2-3013 Email: ida@gallagherage.co.jp



ドラム缶などで作ったシカの給餌台(右下)を視察する大森司会長ら/撮影 本間浩昭会員

前田一步園財団視察

12月15日、エゾシカ協会事務局は森林地帯におけるエゾシカ被害対策を先進的に進めている釧路管内阿寒町の財団法人「前田一步園」を視察しました。

園内では森林被害の様子や対策としてのネット巻きやビートパルプの給餌台などをご案内いただきました。

同園と当協会とは今後も協力関係を進め、自然と人間活動との共生に向けて努力することなどで合意しました。

エゾシカ TOPIC ①

News Letter No. 6

エゾシカ TOPIC

①前田一步園財団視察

②ハイタワー調査始まる

③ティア・バス調査

④えりも町情報交換会

⑤北海道庁へ意見申し入れ

部会だより B. 技術開発小委員会報告 パート3
C&D. 合同部会とエゾシカ試食会

エゾシカ ニュース・クリップ

エゾシカ グルメ・インフォメーション

事務局だより ・マニュアル類の作成進行中
・ホームページができました

②ハンティングタワー方式によるエゾシカ捕獲調査、始まる！

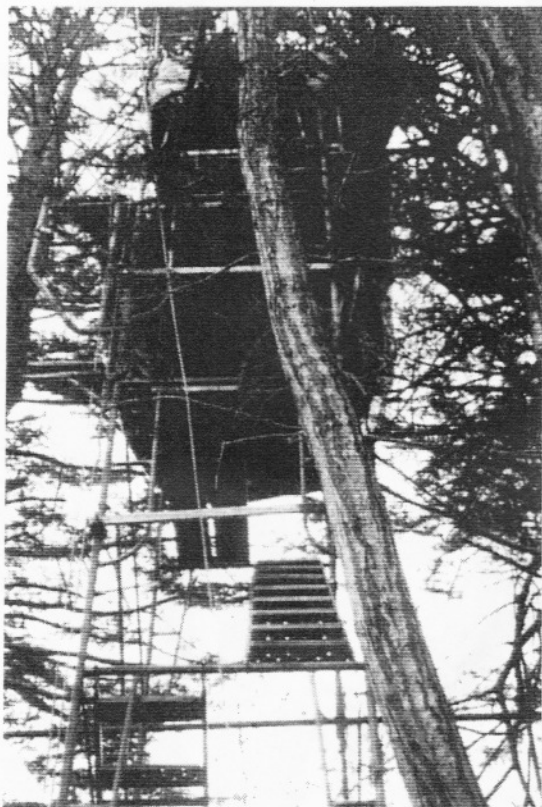


写真1



写真2

エゾシカの適正な生息数を維持するためには、現在の“自由型”狩猟から“管理型”狩猟への移行が望まれます。この度、北海道庁の委託業務として当協会が受託した「次世代型エゾシカ捕獲システム調査」は、シカを計画的・効率的に捕獲する方法を模索するものです。これは、シカの出現頻度の高い場所に「ハイタワー」と呼ばれる高い足場(タワー)を設置し、地元ハンターの方々にクリーン・キルを実践していただき、捕獲効果を調査します。

本年度は道東の音別町と白糠町および道北の西興部村の3カ所にハンティング・タワーを設置します。いずれも地元猟友会の協力のもと、調査が進められています。道東に設置するタワーは、工事用足場枠を6段に組んで階段をつけた高さ約10mのものです(写真1)。西興部ではアメリカで実際に使用されている専用のハイシートを輸入して設置する計画です。設置場所は周囲を林に囲まれた牧草地(写真2)で、樹木で隠れるよう設置しています。

音別、白糠の設置場所を10月31日に調査したところ、いずれもシカの糞や牧草の噛みあとが非常に多く、理想的な設置場所と思われました。しかし今秋のシカの数はず年に比べ非常に減少しており、日中のシカは確認されませんでした。また、エサによる誘引効果についても試験を行っています。牛用配合飼料、ビートパルプ、鉱塩などを試していますが、野生獣のため、あまり採食していないようで、どのようにして食べさせるかも検討課題となっています。

積雪期を迎え、エゾシカのエサが不足するこれからの季節、どうなるか。推移を見守っていく予定です。

※この調査結果は次号に掲載いたします。お楽しみに！

③JH(日本道路公団)ディア・パス調査

10月24、25日、エゾシカ協会事務局はJHの依頼により、占冠・十勝清水間の高速道路工事区間について、エゾシカおよびヒグマへの影響に関する調査を実施しました。

JH担当者および同地域のハンター会員の案内で現地を視察し、高速道路がエゾシカやヒグマの移動を妨げないような対策やエゾシカ侵入防止柵と高速道路が農地へのエゾシカ侵入を防ぐ効果をもたらすことなどの説明を受けました。

当協会は今後も高速道路と野生動物との共存に向け、JHと協力していくことが話し合われました。

④えりも町にて「エゾシカ猟区」の可能性—情報交換会がありました

11月7日、日高管内えりも町で当協会は日高支庁、北海道庁、同町のエゾシカ関係者と共に情報交換会を開きました。同日夕刻および8日午前中、えりも町営上歌別牧場(旧道営肉牛牧場)において、エゾシカの出没状況を視察しました(写真下)。同牧場から付近の道有林にかけてはエゾシカが多数生息しており、今後の有効活用の方策について検討が行われました。



えりも町営上歌別牧場(右手前方は襟裳岬)

⑤エゾシカ狩猟及び侵入防止柵に関して北海道庁へ意見を申し入れました

10月6日、大泰司会長と井田事務局長、籠田事務局長で北海道庁を訪ね、環境生活部と農政部に「エゾシカ狩猟及び侵入防止柵に関するモニタリング調査」についての申し入れを行いました。下記はその概容です。

道東地域エゾシカ保護管理計画に基づき、捕獲頭数の拡大と約 1.600km に及ぶ侵入防止柵整備等の対策が進められ、生息水準の抑制や農林被害の軽減等に効果が現れ始めていますが、地域によっては以下のような状況が生じています。

- ・可猟区域・期間の変更やシカ柵整備の進展にともない、エゾシカの移動ルートが変化し、これまで農業被害等が問題とならなかった地域に出没するようになっている。
- ・シカ柵がエゾシカの季節移動を妨げるなど、シカや他の野生動物に悪影響を及ぼしていると考えられる。
- ・市町村、JA 単位でシカ柵整備が進められているため、無駄な整備区間ができ、整備が効率的に進められていない。
- ・効率的な捕獲を進めるための捕獲柵や観光牧場への誘導柵としての利用など、シカ柵の多面的活用が望まれている。

このため、以下の視点についての早急な検討が必要であると考えます。

- ①可猟区拡大やシカ柵整備の進展によるシカの生態への影響調査
- ②シカ柵による農業被害防止効果の調査、環境に配慮した整備手法の検討
- ③全道及び生息圏ごとのシカ柵整備マスタープラン作成に向けた調査・検討
- ④シカ柵の多面的活用についての検討と整備のあり方に関する検討

部会だより

●B. 被害対策部会より●

技術開発小委員会報告 パート3 地域科学研究所 若菜千穂会員

「整備マニュアルまで、あと1歩！」

今年最後の技術開発小委員会を11月28日に開催しました。原稿も8割方集まり、委員会での議論の内容も具体的で熱いものとなってきました。

今回の小委員会では、特に河川横断部のシカ対策の問題点を含め、防シカ柵技術を各メーカーの枠を越えて整理し、技術の蓄積を行っていく方向性が固まりました。

次回（予定日時：1月12日 14:00～）の会議では、メンバー全員で詰めの議論を行う予定です。



今年最後の委員会なので、会議後にエゾシカ肉のフルコースに参加メンバー全員で舌鼓を打ちました。

あっさりとした中にも味わいのあるシカ肉にびっくり！！シカ肉を用意していただいた五十嵐氏（ジー・エイ・シー）に感謝。



●C. 品質管理部会&D. 有効活用システム部会より●

北海道ホテルにて合同部会とエゾシカ試食会

12月16日、帯広市の北海道ホテルで午前10時30分から13時までC&D部会の合同部会、引き続き同ホテルのシェフによるエゾシカ料理の試食会を行いました。

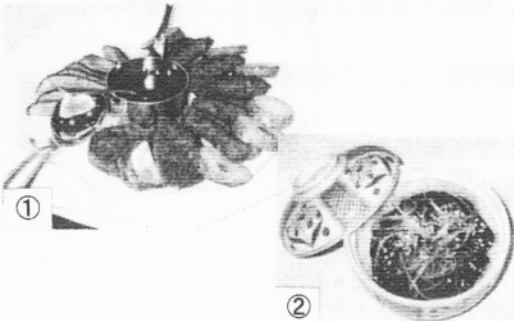
合同部会ではハンティング、肉処理、衛生検査の3マニュアル案について検討し、北海道庁食品衛生課の指導のもと、いずれも1月上旬に完成させることを決めました。これによりC部会の役割は一段落します。今後はCとD部会は合同し、ひとつの部会として活動することに決まりました。

試食会では「さすがは北海道ホテル！」と参加者をうならせた当日のメニューをご紹介します。

“えぞ鹿肉の照り焼き小丼”（写真②）はシェフの工夫作。参加者の間でも「意外となじみやすい」と大人気でした。

《えぞ鹿モモ肉の料理メニュー》

えぞ鹿肉のカルパッチョ仕立て、彩りやさいを添えて
えぞ鹿肉と牛蒡の結物のポアレ、和風仕立て
えぞ鹿肉の香草カツレツ、ポテトのローストと伴に
えぞ鹿肉とシメジ茸の柳川 (写真①)
えぞ鹿肉の照り焼き小丼 (写真②)
えぞ鹿肉と冬やさいの香辛炒め
えぞ鹿肉と炒り卵のチリソース煮



① ハイタワーを使ったエゾシカ捕獲システム、釧路管内音別町で報道陣に公開…10月19日

道から委託を受けたエゾシカ協会が、11月20日から来年3月10日まで捕獲効果やエサの嗜好性などを調査する。道自然環境課は「大量捕獲の手段としてではなく、食害が予想される生息密度の高い場所での効率的な捕獲方法として導入したい」と話している。

② 白糠町・エゾシカ猟中のハンター、ヒグマに襲われ重傷…11月1日

午後0時15分ごろ、釧路管内白糠町上茶路の国有林で、エゾシカ猟をしていた岩見沢市の会社員(60歳)が、後ろからヒグマに襲われた。会社員は発砲してヒグマを追い払ったが、後頭部や首などに重傷を負った。会社員は猟解禁日のこの日、狩猟仲間3人で入山したが、襲われた時は単独だった。ヒグマは子グマを連れていたという。

…翌日、会社員を襲ったヒグマは死体で発見された。

③ 標茶の国道・エゾシカと衝突、車の会社員死亡…11月6日

午後6時10分ごろ、釧路管内標茶町塘路302の国道272号で、ライトバンがはねとばしたオスのエゾシカが同町の会社員(54歳)の乗用車のフロントガラスを突き破り、運転席に飛び込んできた。衝撃で車は路外に転落して横転。車内の会社員は内臓破裂で死亡した。



道庁自然環境課

北海道庁では平成9年度に「道東地域エゾシカ保護管理計画」を策定し、エゾシカの適正な保護管理や農林業被害の防止などの対策を進めてきましたが、被害地域が道央地域の一部にまで広がり、「鳥獣保護及狩猟ニ関スル法律」の改正により、「特定鳥獣保護管理計画」の策定で地域の実情に応じた対策がとれるようになったため、道央地域の一部も対象とした「エゾシカ保護管理計画」を9月に策定しました。

計画の期間は平成12年9月18日から平成14年3月31日までです。



ヒグマ

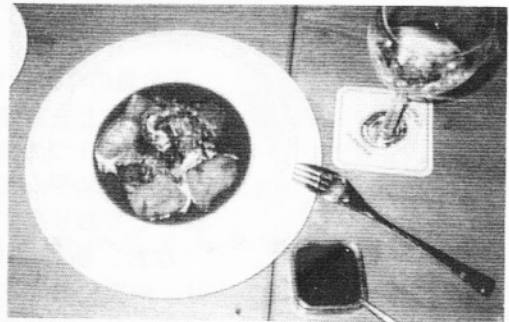
ヒグマに襲われたらどうするか。S・ヘレロ著の『ベア・アタックス』(北大図書刊行会・上下各2,400円)は好著!!。ペッパーズプレーを吹きつけてもクマがひるまなかったら、首を手で保護する姿勢をとることが致命傷を負わずに済む可能性が高いとのこと。



エゾシカと衝突

北海道内(97年、99年は釧路、根室、網走管内のみ)のエゾシカと車の衝突事故件数は北海道警察本部に届出があったものだけでも3年間で1,850件を超えます。

- ・97年 524件
- ・98年 726件 死者3人
- ・99年 606件



《今世紀最後のXマスを鹿肉料理で》

12月といえば、西欧では多くのレストランの特別メニューにベニソン(鹿肉)料理が加わり、シェフの腕がうなります。シビエ(狩猟鳥獣肉)として誰もが知っている食材ですが、供給量が少なく、値段も高いため、世界最大の消費国・ドイツでも、結婚式や誕生日などの特別な日にしか食べられない最高級料理。中でもクリスマスは、ヘーゼル・ブラウス(エゾライチョウ)かベニソンか、とメインディッシュの選択を迷うほどの人気です。

札幌市中央区のドイツ家庭料理「ガーデンコート」では、足寄町産のエゾシカを使ったドイツ料理が楽しめます。鹿肉と野菜を煮込んだグーラッシュ(写真上/1,200円)は、シェフにブルーベリー・ジャムを付けてくれるよう頼んで、木の実との抜群の相性を味わってみてください。鹿肉のローストをシャリアピン・ソースで食べるキルシュ(980円)はビールや赤ワインのつまみに。ほかにトマト煮(1,200円)も。ベニソンのフルコースは要予約。

●ドイツ家庭料理「ガーデンコート」●

11:30~14:30/17:00~23:00(無休。土曜は夜のみ営業)

札幌市中央区南1条西5丁目、セントラル富士ビル1階

TEL:011-242-5078



事務局だより

解体マニュアル&衛生マニュアル (暫定版)編集中

枝肉解体処理の規格化を進めるための「解体マニュアル」と自主的な衛生チェックの項目をまとめた「衛生マニュアル」の暫定版作りを進めています。シカ肉を食肉として流通させるため、懸案の両マニュアルとも本年度中に完成させるべく、鋭意編集作業を行っています。ほぼ原案ができましたので、近いうちに関係会員に配布いたします。

ハンティングマニュアル(決定版)作成中

ハンターの皆様からのご意見をいただき、ハンティングマニュアル(決定版)が完成目前の段階にあります。より良いものを作り上げるためにも、「ここは見直すべきだ」「こうした方がいい」などのご意見をお持ちの方は事務局までご進言ください。

協会ホームページへアクセスを!

ホームページを開設しました。内容はまだ充実したものではありませんが、皆様からのご意見・情報などをいただき、良いものにしていきたいと思っております。

<http://www.yezodeer.com>

平成12年度会員申し込み及び 会費納入はお早めに!

平成12年度会員としてお申し込みのない前会員の方へのニュースレターの配布は今号で終了いたします。継続ご希望の方はお早めにご連絡下さい。

また、会員名簿の整理がごさいますので、会費は12月中にお納めくださるようご協力お願いいたします。



社団法人エゾシカ協会会員募集

◎正会員 正会員の年会費は1口10,000円です。ご協力いただける方には、できれば2口以上をお願いしたいと思っております。

また、3つの部会(A.保護管理部会 B.被害対策部会 C.品質管理・有効活用システム部会)のいずれかに所属していただき、活発な部活動をお願いしております。希望する部会もお知らせ下さい。

なお、新規会員のご入会はお申し込みをいただいてから理事会にはかり、決定いたします。承認後に会費納入のご案内を差し上げますので、手続きに多少時間がかかりますことをご了承下さい。

◎賛助会員 年会費は1口5,000円です。

賛助会員は協会活動に賛同し、応援したいという方々を対象としており、協会ニュースレターなどの情報を随時お送りいたします。

*法人会員の場合は、代表者・連絡担当者の記名をお願いいたします。

*会費納入のお知らせはお申し込み後、郵便・FAX・Eメールのいずれかで送らせていただきます。

お申し込み・お問合せ：(社)エゾシカ協会事務局

〒061-0212 北海道石狩郡当別町金沢166-8

TEL: 01332-5-5533 FAX: 01332-2-3013 Eメール: ida@gallagherage.co.jp